

事業所評価の集計結果について（お知らせ）

日頃より当センターの療育にご理解ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

9月に配布いたしました事業所評価へのご協力をありがとうございました。集計後、改善策等を検討いたしましたので、お知らせいたします。

（回答32世帯 率82%）

感染予防対策が緩和され、当園の行事や保護者が交流する機会も増えてきたと思います。引き続き、保護者の方とお子さんの成長に力を尽くして参りたいと思います。

第三者による評価と合わせて年内にはホームページにて公表する予定です。

事業所評価は年一回の実施予定ですが、ご意見ご要望はいつでも受け付けております。困りごとなど連絡帳やお電話等でその都度お気軽にお寄せください。

*幼児期は、人生の基礎を築く大切な期間です。これからも皆様と連携して発達支援を充実させて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

児童発達支援 事業所 評価表

保護者数 39 回収数 32 割合 82%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	1	0	1~4 環境・体制整備につきましては、事業所としての法的な基準を満たしておりますが、お子さんが安全・安心に過ごすことを第一に努めて参ります。
	2 職員の配置や専門性は適切であるか	30	2	0	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、子どもの特性に応じ、「うみのほし」の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29	3	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの達の活動に合わせた空間となっているか	31	1	0	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	0	0	6 個別支援計画の「本人支援」の目標は、特に重点に置いて取り組むことを目標にしております。児童発達支援ガイドラインの提供すべき支援は日々の療育等で計画し取り組んでおりますので、詳細について求められましたらお電話やプリント等でお伝えいたします。
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「支援児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	2	0	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	0	0	
	8 活動プログラム《主に、一週間の療育計画のことです》が固定化しないよう工夫されているか	32	0	0	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会があるか	26	6	0	

9 今年度は、お隣の認定こども園さんとの交流は計画に基づいて実施しております。また園庭遊びのときに、認定こども園さんも遊んでいる時は、関わって遊ぶ機会があります。園だよりやクラスだより、連絡帳などでお知らせしておりますが方法等について検討して参ります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見をふまえた対応	
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	0	0	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）を始めたばかりで頻度や内容がまだまだ不十分です。引き続き保護者とお子さんのニーズに応えられるようにペアレントトレーニングについて学び、お伝えする方法を工夫して参りたいと思います。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（CAREプログラム等ペアレントトレーニング）が行われているか	28	4	0		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	1	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	0	0		
	15 保護者会等の活動の支援や開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27	4	1		15 今年度より保護者会活動に職員2名が相談役を担っております。引き続き、保護者会役員の方の相談を受けながら協力体制を整えてまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	0	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮（絵カード交換等コミュニケーション支援）がなされているか	32	0	0		
	18 定期的に園便りやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を保護者に対して発信されているか	31	1	0		19 取得した個人情報は引き続き責任をもって管理いたします。目的以外に使用することはいたしません。保護者の方に情報の開示を求められましたら速やかに開示いたします。
19 個人情報の取扱に十分注意されているか	30	2	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見をふまえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	32	0	0	21 保護者の方より以下の感想がありました。“災害用伝言ダイヤルの体験利用など保護者に向けての取り組みもよいと思う。” → 温かいお言葉をくださりありがとうございます。今後も災害があったときのことを想定しながら訓練内容を検討して参りたいと思います。非常時の対応や訓練について年度初めの療育説明会でお知らせし、「うみのほしハンドブック」にも掲載して周知を図りました。情報量が多い資料となっておりますが、今一度ご覧になり、お子さんの安全のためにご理解とご協力をお願いいたします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	1	0	
満足度	22	子どもは「うみのほし」への通所を楽しみにしているか	32	0	0	23 保護者の方より以下の意見がありました。“他の児童発達支援センターは、仕事をしているお母さんのために預かりがあるようです。うみのほしは特にそのような仕組みがないので、不便かと思います。併行して利用する認定こども園を探すのも難しい状況なので、共働き時代を支援してほしいです。” → 貴重なご意見をありがとうございます。併行通園が可能となるように連携体制を整え地域のこども園に発信していく努力をして参ります。同時に開所時間の変更及びお子さんを預かる体制を整えられるように、今後検討していきたいと思っております。
	23	「うみのほし」の支援に満足しているか	32	0	0	

2023年度 職員による事業所評価結果（公表）

職員会議実施日：2023年11月15日

児童発達支援センター
うみのほし

		チェック項目	はい	いい	無記	職員より意見等（工夫など）	改善策
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25		0		
	2	職員の配置数は適切であるか	25	0	0	年休や外勤、研修等で職員が不在の時は、職員配置を調整して体制を整えている。また個別対応の子供が多いクラスは、行事や場面に応じてヘルプ体制をとっている。 職員の配置数は適切ではあるが、子供の状態によって職員数をもっと多い方が手厚い支援ができると思う。	園児の出席状況と直接処遇職員の勤務数を考慮しながら柔軟に体制を整えられるように努力する。 園児が自主的に活動できる活動内容や環境を引き続き工夫していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配置が適切になされているか	25	0	0	タイムタイマーやスケジュール提示等のアイテムを有効活用し一人一人に合った対応をしている。	わかりやすい環境を整え、自立に向けた支援を行っていく。 支援ニーズに合わせた環境（物理的構造化）をクラス会議等で話し合った結果を受け、事業所として必要と思われる環境整備を引き続き行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画し	25	0	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につな	25	0	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25	0	0		

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25	0	0		
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25	0	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	0	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用して	25	0	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援（本人支援及び移行支援）、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援	25	0	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	25	0	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	25	0	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	25	0	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25	0	0	療育が始まる前に役割や支援について話し合いと確認をしている。不在の職員には後から必ず伝えている。 バス乗務や出勤時間等により、いない職員には後から必ず伝えるようにしている。 療育等の準備に時間がかかる場合は、前日の療育後に打ち合わせをしながら行っている。	引き続き、事前に打ち合わせ等を行い、不在の職員と結果を共有する工夫をしていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	25	0	0	クラス担任全員が揃うことは少ないが、その日の療育を振り返り、よりよい支援、について話し合っている。 個々の支援記録を毎日記入している。 不在の職員には後で報告している。	引き続き、療育の振り返りはじめアセスメントを行い、より良い支援に繋げる。不在の職員と結果を共有する工夫をしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25	0	0		

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	25	0	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	25	0	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	25	0	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	0	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	0	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	0	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	25	0	0		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	25	0	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25	0	0		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	25	0	0			

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25	0	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	25	0	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25	0	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17	8	0	保護者の要望により、今年度より保護者会活動に職員2名が相談役として役員会等に出席をしている。	保護者会の主体性を尊重し、協力体制を整えながら引き続き支援していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	0	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25	0	0		
	38	個人、情報の取扱に十分注意しているか	25	0	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	9	16	0	「なかよしタイム」のお知らせは、見学者と関係機関にパンフレットを渡ししている。9月から地域の親子が参加している。 地域住民に対しての行事は行っていない。	地域の親子対象に「なかよしタイム」を年間予定の中に入れて、こども園や地域の子供たちと交流できる機会を設けている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	25	0	0		

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25	0	0	毎月さまざまな場面や時間帯を設定して、訓練を実施している。	引き続き、当事業所のみならず、隣接するこども園や近隣の学校、事業所の協力のもと、さまざまな場合を想定して行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	25	0	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか	25	0	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25	0	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25	0	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	25	0	0		

函館カトリック社会福祉協会
児童発達支援センターうみのほし
事業所評価第三者委員会
議事録

1 開催日時 2023年11月27日(月) 15時～16時

2 出席者 事業所評価第三者委員 社会福祉法人かいせい 理事長 松田由美子 氏
事業所 児童発達支援センターうみのほし 管理者 森川敦子

3 目的

児童発達支援ガイドラインの中に「事業所による自己評価のほか、可能な限り、第三者による外部評価を導入して、事業運営の一層の改善を図ることが必要」とある。当事業所では、すでに職員と保護者による事業所評価を実施している。第三者による評価を加えて、次年度のサービス向上に役立てることを目的として実施する。

4 評価内容について

2018年3月29日に厚生労働省より示された「福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の項目と職員・保護者による事業所評価結果に基づいて評価を受ける。

5 評価結果について

- ・概ね良好である。
- ・環境・体制整備「3 生活空間や設備等の配慮が適切にされているか」の質問に、32人中3名の保護者が“どちらともいえない”と返答されている。
機会のあるときに具体的に伝えることが安心に繋がる。
合理的配慮が義務化になったので、配慮していることと配慮が足りない部分等も理由も一緒に知らせた方がよいと思う。

6 今後について委員からの助言等

- ・「青年期になっても気持ちを伝えられずに、急に暴れたりすることがあり本人も周りの人も大変である。
気持ちを伝えることは幼児期から療育と家庭で取り組む必要があると実感している。
- ・他のお子さんとは比べる保護者には、自分のお子さんのよいところを見つけてあげることも必要な支援だと思う。